

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年1月22日

協議会名: 深谷市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
(株)協同バス	北部定期便: 深谷駅北口～渋沢栄一記念館～深谷駅北口 (車両減価償却費等国庫補助金申請系統)		A 計画どおり事業は適切に実施された。	【目標1:利用者数の増加】 (目標)53,379人 (実績)57,536人 【目標2:利用者満足度の向上】 (目標)利用者アンケートで各項目とも前年度調査以上の満足度 (実績)13項目中、10項目達成	平成27年度に運行事業の再編を実施してから2カ年以上経過し、市民への定着が進んだ結果、利用者数は目標を達成することができた。利用者満足度も13項目中10項目で前回の満足度を上回ることができ、利用者から一定の評価を得ることができた。 しかし、収支率については運賃収入は前年度よりやや改善したものの目標を達成することができなかった。 今後は、毎年実施している利用者アンケートのほか、大規模な市民アンケートを行い、普段コミュニティバスを利用していない者も対象に潜在的なニーズ調査を行う。また、現在の運行の課題、問題点を整理し、路線バスの再編、運賃のあり方を検討していく。
花園観光バス(株)	北部デマンド 南部デマンド	・コミュニティバスの車両広告を募集 ・定時定路線とデマンドバスの結節点の追加 ・公共交通ガイドの作成	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 【目標3:収支率の向上】 (目標)10.9% (実績)8.3% 【車両取得に係る目標:車椅子利用者数】 (目標)12人 (実績)3人	引き続き自治会における説明会や広報活動を行い、市民のバス利用に対する理解を深め、利用者の増加と収支率の改善に繋がるよう情報提供に努めていく。
深谷タクシー(有)	岡部デマンド 川本デマンド 花園デマンド		A 計画どおり事業は適切に実施された。	利用者数については、目標を大きく上回ることができた。利用者満足度は目標を若干下回り達成できなかったが、概ね目的を達成していると考えている。収支率、車椅子利用者に関しては目標を達成できなかった。	

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成30年1月22日

協議会名:	深谷市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>深谷市は面積が138.41km、人口145,053人で埼玉県の中西部に位置し、平坦な地形を呈している。また、市内には広域的な移動手段であるJR高崎線と秩父鉄道の2つの鉄道で計6駅が整備されており、この鉄道と結節する地域間移動の足として、市内に民間路線バスが4路線運行されている。コミュニティバス「くるリン」は、これらを補完する役割として平成12年度から本格運行しているが、広域的に循環させるため路線が長大化し本数も少なく、交通空白地帯も多く残されている。</p> <p>このような状況を踏まえ、今後、高齢化による交通弱者が増加していく中において、交通弱者の病院・買い物施設等への足の確保が課題であり、効率的かつ効果的な公共交通ネットワークを構築していくことが必要となっている。</p> <p>そこで、鉄道や民間路線バスとコミュニティバス「くるリン」を有効に結節させ、既存の公共交通を維持確保するとともに、交通弱者の足の確保および交通空白地帯の解消を目的として本事業を実施する。</p>